

Eclipseベース 統合開発環境 e2 studio V3.0.0.22、V3.0.1.07、V3.0.1.08 および V3.0.1.09 ご使用上のお願い

統合開発環境e2 studio V3.0.0.22、V3.0.1.07、V3.0.1.08 および V3.0.1.09 の 使用上の注意事項を
連絡します。

- High-performance Embedded Workshopプロジェクトをインポートする際の注意事項

1. 該当製品

e2 studio V3.0.0.22、V3.0.1.07、V3.0.1.08 および V3.0.1.09

2. 該当デバイス

RXファミリのサポートデバイス全て

3. 内容

該当製品でHigh-performance Embedded Workshopプロジェクトをインポート
する場合に、RXファミリC/C++コンパイラの下記オプションが正常に
引き継がれない場合があります。

- lang=ec++
- nostuff
- section
- nostuff
- case
- output=prep -noline
- save_acc (注1)
- pack (注1)
- show=all (注2)

注1: コンパイラオプションとしては正しくインポートされますが、

Standard Library オプションとしては、正しくインポートできません。

注2: 本オプションは、最適化リンケージ・エディタのオプションです。

4. 回避策

上記オプションを使用する場合は、以下の手順で設定してください。

- (1) e2 studioの「プロジェクト」メニューから、「Renesas Tool Settings」を選択する。
- (2) 「プロパティ」ダイアログボックスで、「C/C++ビルド」の「設定」を選択する。
- (3) 「ツール設定」タブの「Compiler」下の「ユーザー」を選択する。
- (4) 「ユーザー定義オプション」で、追加アイコンを押す。
- (5) 「値を入力してください」ダイアログボックスで、該当オプションをユーザ定義オプションとして追加後「OK」ボタンを押して「プロパティ」ダイアログボックスに戻り、「OK」ボタンを押す。

5. 恒久対策

今後のバージョンで改修する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。